

かれることになった。
トルドー首相は、特にいわゆる南北問題を重視しており、今度のサミットでは開発途上国を抱える厳しい諸問題のほか、東京サミット、ベニス・サミットに引き続き、インフレ抑制策やエネルギー戦略も重要議題となるはずである。

日本に友好的なカナダ人 日本外務省が世論調査

「カナダにおける対日関心はきわめて高く、カナダ人の対日観も良好」——日本の外務省がカナダで行なった世論調査の結果である。この調査は、外務省が今年の六月五日から七日にかけて、カナダ、ギヤラップ・ポール社に委託、五つの地域から無差別に抽出した十八才以上のカナダ人一、〇四五人を対象に、個別インタビュー形式で実施した。英米など八か国と比較した対日友好度、カナダ人の対日観、日本製品の評価などについて調査した。

主な結果は次の通り。
一、カナダ人の「日本に対する友好度」は昭和四八年度の調査で七二%、五一年度の調査で七一%であったが今回は八三%に増加した。米国（九二%）英国（九〇%）への友好度が日本より高いのは変わらない。今回新たに加えたオーストラリアに対しては、カナダ人の友好度（八七%）は日本よりも高い。
一、「アジア・太平洋地域にお

けるカナダの最重要パートナー」は、前回と同じく日本が第一位。第二位のオーストラリア、第三位中国の比率がほとんど変わっていないのに比べ、日本は前回三五%から今回四六%と大幅に伸びている。また、その理由として「良好な貿易関係」をあげた者は、前回の三三%から五九%に急増した。
一、日本は「アジアの安定勢力となる」と考えているカナダ人は、これまで同様相変わらず過半数を占めた。（四八年度五三%、五一年度五一%、五五年度五四%）他方、これを否定的に見ている者は徐々に減少している。

一、「日本製品の評価」については、「優秀」ないし「良質」と考えるカナダ人は四八年度五六%、五一年度五九%よりさらにふえて六六%となった。

一、「日加貿易の拡大」を望んでいるカナダ人は、従来約六割を占めていた（四八年度六〇%、五一年度五九%）が、新たに回答例「現状維持でよい」を加えたところ、三五%がこれを支持したため、今回は三六%にとどまった。

「日加貿易の拡大」を望む理由として「日本市場が必要である」を挙げている者が圧倒的に多い（五〇%）。「拡大すべきでない」とする者（一四%）のうち、理由として「カナダ人の雇用機会を奪う」を挙げた者が急増している（前回三三%、今回七四%）。他方、「これ以上日本製品のカナダ流入は好ましくない」と答えた者は、前回

四四%あったが、今回は一六%に減少した。

一、「日本人のイメージ」を表わす言葉としては、これまでと同様、「勤勉」、「知的」、「進歩的」が上位を占め、しかもその比率は伸びている。

一方、好ましくないイメージとして、「秘密主義」、「権威に弱い」及び「好戦的」を選んだ者は、それぞれ一三%、一〇%及び九%であった。

片足で五千キロ走破 ガン研究の募金運動で

ガんで片足を失なったカナダの一青年が、ガン研究の資金を募るため、五千三百キロを走破、その壮挙にカナダ全国から一千二百万ドル（約十七億五千万円）をこえる寄付が集まった。



UPI・サン

この青年、テリー・フォックス君（二十二才写真）は、三年前、ガンのため右足をひざ上から切断された。しかしそれにもめげず、ガン撲滅のための研究費を集めようという決心、今年の四月十二日、大西洋側のニューファンドランド州の首都セント・ジョンズから全

長八、三二〇キロのカナダ横断マラソンをはじめた。マラソンは九月一日、オンタリオ州サンダー・ベイに達したところで、テリー君の肺にガンの二次感染が発見されたため、中断され、テリー君は急拠バンクーバー近郊の病院に運ばれた。

寄付は九月一日までに二百万ドルに達し、その後、中断の発表やテレビの特別長時間番組によってさらに一千万ドル以上が集まった。特別番組が放送された晩、ウイニペグで行なわれていた全加フットボール競技大会では、観客が七千ドル近くを寄付した。またテリー君がかつて運動学を勉強していたブリティッシュ・コロンビア州のサイモン・フレージャー大学では、彼が示した勇氣と献身をもち合わせた学生に、毎年、金メダルと千ドルの賞金を授与することになった。

連邦政府は、九月五日、テリー・フォックス君にカナダ最高の榮譽である「カナダ勲章」を授けた。史上最年少の受賞者である。

耳の不自由な人々のために
字幕つきテレビ画面を検討

耳の不自由な人々にもテレビを——と、カナダではテレビジョン文字図形伝送システムを利用して、画面に字幕をつけることを検討している。

これは、字幕用の文字を電波またはケーブルで送り、それをテレ

ビにとりつけた特別のデコーダー（解説）装置で画面に写し出すというもので、クロスド・キャプシヨニングと呼ばれる。
カナダにおけるビデオテックスの利用を検討しているカナダ・ビデオテックス懇談委員会にこのほどこ設けられた政経グループが、デコーダーの国内需要、字幕をつけるための費用、技術などについて調査することになっている。

カナダの人口二、三八七万人

カナダの総人口は、今年の四月一日現在で、推定二三、八六九、七〇〇人に達した。州別の人口は次の通り。カッコ内は一九七一年の国勢調査の結果。

オンタリオ	8,558,200	(7,703,000)
ケベック	6,298,000	(6,028,000)
ブリティッシュ・コロンビア	2,626,400	(2,185,000)
アルバータ	2,068,800	(1,628,000)
マニトバ	1,027,100	(988,000)
サスカチュワン	967,400	(926,000)
ノバ・スコシア	851,600	(789,000)
ニュー・ブランズウィック	705,700	(635,000)
ニューファンドランド	578,200	(522,000)
プリンス・エドワード島	124,000	(112,000)
北西準州	42,800	(34,800)
ユーコン準州	21,400	(18,400)